

2024年度事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

I. はじめに

1. 2023年度の概況

2023年度の助成事業については、コロナ禍が概ね収束したこともあり、音楽分野、伝統文化分野とも計画どおりに行うことができた。

音楽分野においては、新たな事業として、演奏機会が減少した若手音楽家(当財団の海外音楽研修生)を対象として、出捐元の明治安田生命保険相互会社と連携してクラシックコンサートを1年間で5回開催した。

伝統文化分野においても、市町村が主催する「助成金活用セミナー」に出席するなど、新たな周知活動を展開した。また、多くの自治体から、「市民に当財団の助成制度を幅広く周知したい」という理由から、公募内容を当該団体のホームページに掲載したいとの要望を受けた。こうした取組みが奏効し、令和6年度の助成金申込件数が4年ぶりに100件を上回り、コロナ禍以前の水準に回復した。

収支状況については、超低金利が続く中においても基本財産運用益は、予算(4,000万円)を上回る4,100万円を確保できる見込みとなった。また、経常費用については、予算7,200万円に対し概ね予算内に収まる見込みである。

2. 2024年度の基本的な考え方

- (1) 「公益法人制度改革」や令和6年度文化庁予算(案)を調査・研究しながら、公益財団としての使命を果たすべく、社会に貢献できる助成事業を展開する。
- (2) 金利上昇リスクに対応するため、財産運用ポートフォリオの一部変更を検討しつつ、2024年度の基本財産運用益は4,000万円を維持する。出捐元からの寄付金3,500万円(前年比+300万円)と合わせ、経常収益は7,500万円として計上する。助成事業規模は、音楽分野助成金を2,580万円(前年比+170万円)、伝統文化分野助成金を2,200万円(前年比+100万円)とする。
- (3) 伝統文化分野における民俗芸能・技術の後継者育成、音楽分野における若手音楽家育成に向けた取組みを「未来世代応援事業」と位置づけ、サステイナブルな社会の実現に貢献する。

II. 事業分野別 基本計画

1. 音楽分野への助成

～ 若手音楽家の人材育成に対する助成 ～

- (1) 海外における音楽研修に対する助成
 - (2) 国内音楽学生に対する奨学助成
 - (3) 日本音楽コンクールに対する助成
- の3項目についての助成事業を実施する。
- (4) 若手音楽家に対する演奏機会の提供

2. 地域の伝統文化分野への助成

～ 地域の伝統文化保存維持、後継者育成に対する助成 ～

地域の民俗芸能（民俗行事、民俗音楽を含む）および地域の民俗技術（伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸を含む）の継承、特に後継者育成についての助成事業を実施する。

3. 機関誌の発行

音楽分野および地域の伝統文化分野において、機関誌の発行を通じて芸術文化の振興を図るとともに、既助成先に対する定例的な情報提供とフォローを実施する。

III. 具体的な計画事項

1. 若手音楽家の人材育成に対する助成

- (1) 海外音楽研修に対する助成

若手音楽家が海外の音楽教育機関等に留学し、技術を練磨するとともに、その実体験を通じてさらに研鑽を深められるよう、新規4名程度に対し、1人年額200万円（2年間）の海外研修費用助成を行う。なお、専攻部門は声楽・器楽とする。

- (2) 国内音楽学生に対する奨学助成

国内音楽学生が良い勉学環境を得られるよう、13音大(前年比+2校)から各1名(原則3年次生以上)に対し年間30万円の奨学助成(最長2年間)を行う。

- (3) 「日本音楽コンクール」に対する助成

若手音楽家育成の一環として、「日本音楽コンクール」作曲部門最優秀者に対する「明治安田賞」50万円を日本音楽コンクール事務局に寄託する。

- (4) 若手音楽家に対する演奏機会の提供

過去に海外音楽研修生であった若手音楽家を対象として、明治安田ホール等を活用したクラシックコンサートをを行う。(年間5回開催予定)

2. 地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成

(1) 地域の民俗芸能（民俗行事、民俗音楽を含む）に対する助成

地域の民俗芸能の継承、特に後継者育成のための技能修得や継承活動に要する諸費用の助成（道具整備費・研修費・記録保存費等）を70万円限度で行う。

(2) 地域の民俗技術（伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸を含む）に対する助成

地域の民俗技術の継承、特に後継者育成のための技能修得や継承活動（技術の公開を含む）に要する諸費用の助成（道具整備費・研修費・記録保存費等）を40万円限度で行う。

3. 機関誌の発行

芸術文化の振興を図るとともに、助成対象先のフォローと同時に財団のPRも兼ねた財団機関誌2誌を継続して発行し、関係先に配布する。

- ・音楽分野：『いい人・いい音』～2025年1月発行
- ・地域の伝統文化分野：『地域の伝統文化』～2024年10月発行

4. 助成対象の公募・選考と助成の実行

(1) 海外音楽研修に対する助成

① 公募の時期

2024年度の助成対象候補者を2024年1月4日（木）～4月5日（金）までの期間、公募を行う。

② 助成対象者の選考

音楽分野選考委員会において、2024年4月19日（金）に申込書類審査と映像資料聴取による第1次選考を行う。引き続き5月24日（金）に実技審査と面接による第2次選考を東京オペラシティリサイタルホールで実施する。

③ 助成対象者の決定

2024年5月開催予定の理事会において、音楽分野選考委員会の選考結果を審議し、2024年度の助成対象者を決定する。

④ 助成の実行(助成金目録の贈呈)

決定された助成対象者を発表後、7月8日（月）に助成金目録贈呈式を日本工業倶楽部で開催する。

⑤ 2025年度の公募

2024年度下期開催予定の音楽分野選考委員会において、2025年度の公募方針を検討し、実施スケジュールに即した公募を行う。

(2) 国内音楽学生に対する奨学助成

① 推薦時期

2024年度の新規推薦者を2024年5月10日（金）までに各大学より推薦を募る。

② 候補者の決定

2024年5月24日（金）開催の音楽分野選考委員会において審議を行う。

③ 対象者の決定

2024年5月開催予定の理事会において、音楽分野選考委員会の選考結果を審議し、対象者を決定する。

④ 2025年度の推薦依頼

2024年度下期開催予定の音楽分野選考委員会において実施スケジュール等を検討し、これに基づき推薦依頼を行う。

(3) 「日本音楽コンクール」作曲部門に対する助成

上記に加えて、従来どおり「明治安田賞」を日本音楽コンクール事務局に寄託する。

(4) 地域の伝統文化分野に対する助成

① 公募の時期

2024年度下期開催予定の伝統文化分野選考委員会において、2025年度の公募方針を検討し、実施スケジュールに即した公募を行う。

② 助成対象先の選考

2025年2月開催予定の伝統文化分野選考委員会において助成対象先の選考を行う。

③ 助成対象先の決定

2025年3月開催予定の理事会において、伝統文化分野選考委員会の選考結果を審議し、2025年度の助成対象先を決定する。

④ 助成の実行(助成金目録の贈呈)

決定された助成対象先を発表後、第一次推薦者である市町村教育委員会の庁舎もしくは、明治安田生命保険相互会社の各地の支社において、「助成金目録贈呈式」をそれぞれ実施する。